

予算常任委員会

平成29年度仙北市一般会計補正予算

一般会計補正予算270,229千円を賛成多数で可決

予算常任委員会は本会議から付託を受け、12月13日に付託議案質疑、19日に各分科会報告・同報告に対する質疑・20日に討論採決がおこなわれた。

主な歳出	(株)アロマ田沢湖への無利子貸付金	3,000万円	アロマ田沢湖の経営改善のための貸付金
	仙北市湯ったり生き生き温泉入浴事業	521万円	特区申請に伴う温泉と医療に関する調査研究をするもの
	条件不利農地を担う経営体支援事業費補助金	60万円	農地中間管理機構を經由して新規に中心経営体に農地集積した場合の補助金
	駅前広場施設管理運営費	383万円	角館駅前スタシオン改修に伴う経費
	自然ふれあい温泉館維持管理費	395万円	「アルパこまくさ」の蒸気ボイラーの交換工事費
	急傾斜危険区域工事費負担金	1,200万円	檜木内山口の急傾斜危険区域の県単事業費の20%を負担するもの
	林道施設等の災害復旧事業費	5,630万円	実施設計委託料・重機等の借り上げ料が主なもの

予算修正案

本予算委員会に2名の委員からそれぞれ2件の修正案が提出された。
1件目は(株)アロマ田沢湖に対する無利子貸付金に対するもので、理由として・これによって、経営が好転する確証が得られない・提示された経営改善計画では、これまでの赤字経営から脱却する根本対策となり得るのか疑問である、等の理由から予備費に組み替えるもの。

修正案賛成討論

当該会社は慢性的な赤字体質であり、資金不足に対する、つなぎ融資的な意味合いが強く抜本的な問題の解消に繋がるとは考えにくい。経営改善策について数値を出すべき・具体的な事業計画も無く根拠が薄弱である。

原案賛成討論

田沢湖周辺の賑わい創出に、ハーブ園の存在自体が大きな意味をもち、経営建て直しのための貸付は妥当である。

次に2件目は仙北市湯ったり生き生き温泉入浴事業 521万円のうち人件費を除く478万円を予備費に組み替える修正案はその理由として①地方創生交付金のもとの消化事業であり真の市民の健康増進事業とは思えない。②様々な観点から準備不足が否めない。熟慮を重ねて平成30年度の当初予算に計上すべき。

修正案反対討論

6月の定例会予算委員会で当該事業のための予算が反対1名で可決されている。その関連であり、一度議決した以上、それに沿うべき。

○以上の討論ののち起立採決の結果、反対多数により予算修正案2案は否決されました。

平成28年度一般会計決算は不認定

本年8月30日本会議において、付託された一般会計決算認定については、その後各分科会審査を含めて、延べ6日間に渡り審査した結果、①税の未収金が異常である「収入未収額が5億3,476万円・滞納繰越分の徴収率5.82%と非常に低い。②クニマス未来館の設計違算に係る損害賠償の収入未済額2,102万円は以前の企業誘致の際の覚書の持つ法的根拠の薄さを勉強していない結果。③学校給食費等の収入未済額が異常である。現在の滞納件数は641件で滞納額は2,642万円にもなっている。等の質疑がありました。10月24日の委員会では不認定の立場から2名の討論があり「平成28年度の市税収入率は81.8%と県内ではダントツのワースト1位でありその他の税収も極めて悪い。他違算賠償金問題・給食費の未収に対する対応の悪さの討論の後、起立採決の結果反対多数で2年連続で本市決算は不認定になりました。